

日本鉄鋼協会記事

編集委員会

第6回和文会誌分科会 開催日：8月1日。出席者：田中主査，ほか15名。

1. 12件の論文審査報告がなされ，掲載決定9件，照会后掲載可1件，その他1件であった。

2. 「鉄と鋼」第66年第14号(12月号)に論文8件，技術報告2件，委員会報告1件，技術資料1件掲載決定した。

第7回欧文会誌分科会 開催日：8月8日。出席者：中村主査，ほか7名。

1. 9件の論文について審査報告がなされ，掲載可3件，照会后掲載可1件，修正依頼2件，一旦返却1件，返却2件であった。

2. 「鉄と鋼」以外の国内雑誌より，5件の研究論文を勧誘することとなった。

共同研究会 計測部会

第75回部会 開催日：7月10日～11日。出席者：藤田部会長，ほか142名。

1. 新日鉄・八幡にて開催した。発表件数は計36件であり，活発な討論が行われた。又，工技院・研究開発官北村俊男氏より「光応用計測制御システム」について特別講演があった。

国際鉄鋼技術委員会

第1回委員会 開催日：7月31日。出席者：石原委員長，ほか11名。

1. 本年6月に開催された第12回IISI技術委員会の概要について，石原委員長ならびに日本鋼管・篠田氏より報告があった。本委員会は，コークス炉関係と，エネルギー問題についてであり，コークス炉関連9件，エネルギー問題関連13件の報告があった。

鉄鋼標準試料委員会

第1回常任委員会 開催日：6月26日～27日。出席者：川村委員長，ほか12名。

- 標準値の決定
ステンレス鋼3品種，炭素専用鋼1品種，窒素専用鋼3品種，工具鋼3品種
- 今後の製造予定
- NBSからの打診の件についての検討
- 鋼中炭化物抽出用標準試料頒布計画について
- 細則の検討

ISO/TC17 事務局運営委員会

第5回運営委員会 開催日：7月17日。出席者：石原委員長，ほか17名。

- 事務局業務1年間の実績が報告された。
 - 事務局目標および重点業務項目
 - 国際規格成立件数
 - DISの処理
 - Questionnaire および中央事務局からの依頼事項の処理，ほか

2. 事務局定例報告の新様式が了解された。

3. 専門諮問部会およびTC17総会準備委員会の活動状況がそれぞれ報告された。

第4回専門諮問部会 開催日：7月1日。出席者：青木部会長，ほか22名。

下記事項について報告および審議が行われた。

- TC17事務局近況報告
定例報告その他懸案事項の報告
- TAG/WG1(SC再編成)第1回会議報告
- TC17/SC, WG問題点(TC17事務局から見た問題点も含む)については，事務局で資料を検討した後，各担当委員へヒヤリングに赴くことになった。
- DIS系TC17事務局による最近の業務処理状況が報告された。事務局新目標は次のとおり。
 - DIS改訂版提出3カ月以内
 - DIS投票開始から改訂版提出まで12カ月以内(サブ目標)
- TC17事務局よりTAGへの検討依頼事項およびその書式について

鉄鋼基礎共同研究会

第34回運営委員会 開催日：6月24日。出席者：的場委員長，ほか23名。

- 昭和54年度基共研会計実績報告
- 昭和54年度基共研実行予算
- 各部会活動報告
 - 鉄鋼の応力腐食割れ部会の最終報告書「鉄鋼の応力腐食割れ」が発刊された。
 - 新規2部会「連続鑄造における力学的挙動部会」「融体精錬反応部会」が活動を始めた旨報告があった。
- その他
基共研のあり方について熱心な討議があった。

高炉内反応部会

第12回部会 開催日：7月3日。出席者：大森部会長，ほか23名。

協会会議室にて開催された。

- 石井委員(北大)より「装入物の高温性状の問題点と今後の活動」福島委員より「高炉装入物の流れに対

する土質力学の応用 (Rist 論文の紹介)], 桑野委員より「移動層における装入物の運動 (中間報告)], 又八木委員 (東北大) より「2次元数学的モデル」の発表があり討論が行われた。次回は10月3日開催の予定。

融体精錬反応部会

第1回部会 開催日: 7月11日。出席者: 森部会長, ほか 24 名。

1. 研究発表

- (1) スラグ-溶鉄間の酸素の移行速度

- (2) 高塩基度域での CaO 系スラグと溶鋼の間の脱磷平衡
- (3) 製鋼プロセスにおける脱磷の現状と問題点
2. 分担研究テーマの説明が各委員から行われた。主なテーマは以下のとおり。
 - (1) 製鋼における脱磷・脱硫を主としたスラグ-溶鉄間反応の平衡論的・速度論的研究
 - (2) スラグ-溶鉄間反応を中心とした精錬反応のプロセス工学的研究
3. 今後の運営について

第6回材料集合組織国際会議開催案内ならびに論文募集

The Sixth International Conference on Texture of Materials (ICOTOM 6)

日本鉄鋼協会では、標記国際会議を開催することになりました。ただ今 1st Circular を発行して論文募集を行っておりますので、多数の御応募をお待ちしております。申し込み要領は下記のとおりです。

なお、Circular をご入用の方は下記宛ご連絡下さい。

1. 日 程 昭和 56 年 9 月 28 日 (月)~10 月 3 日 (土)
2. 会 場 経団連会館 11 階国際会議場ほか
3. 協 賛 日本金属学会, 軽金属学会, 日本結晶学会, 日本材料学会
4. 論文募集 下記部門の講演ならびにシンポジウムを募集しております。奮ってご応募下さい。

講演

- | | |
|---------------------------------|--|
| I. Techniques | V. Textures in Non-metallic Materials |
| II. Deformation Textures | VI. Texture and Properties |
| III. Recrystallization Textures | VII. Technological Application of Textures |
| IV. Transformation Textures | |

シンポジウム

"Orientation Distribution Analysis and Techniques of Orientation Measurements"

5. 用 語 会議はすべて英語でおこなわれます。

6. 講演申し込み 昭和 55 年 11 月 30 日締切

英文で 300 語ほどの Synopsis を同封の上お申し込み下さい。

採用決定後 1981 年 6 月までにプレプリント用の原稿 (2 ページ), また会議当日本論文の最終原稿 (10 ページ) をご提出願います。

7. 問い合わせ 〒100 千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階
(社)日本鉄鋼協会 国際課 佐藤, 青木 TEL (279) 6021